

2022年度 日本工学院専門学校											
マンガ・アニメーション科四年制											
高度専門スキル4											
対象	4年次	開講期	後期	区分	必修	種別	実習	時間数	45	単位	1
担当教員	内田 央			実務経験	有	職種	映像クリエイター				
担当教員紹介											
エンジニア。レコーディングスタジオでマニピレーターとして活躍。小柳ゆきやゴスペラーズ、ラルクアンシエルなどを担当。同時期にプロモーションビデオなどを制作した経験から、多ジャンルとのコラボレーションを得意とした制作を行う。担当授業科目も多岐にわたる。											
授業概要											
さまざまなテーマに対し「表現」を主軸とした内容で事象を掘り下げることにより、作品制作や就職活動など幅広い分野で活用できる柔軟な発想力・観察力・論理的思考の養成とレーニングと共に、自己の世界観の確認作業を行うことで作品制作時におけるアイデアの発想力や表現力の向上、また就職活動時には自己分析力を高めしっかりと自己表現ができる人材を育成を目的とする。											
到達目標											
・表現技法を学ぶことで視野の幅を広げ観察力を向上させる。その成果として表現の幅が広がりより魅力的な作品を制作できるようになる。 ・自己分析力と自己表現力を向上させ自身の考えをより解りやすく他人へ伝えられるようになりその成果としてコミュニケーション能力を向上させる。 ・理論的な思考力やアイデアの発想法を学び社会人として活躍できるクリエイターとしての考え方を身に付ける。											
授業方法											
この授業では、さまざまなテーマに対し「表現」を主軸とした内容で基本的内容をレクチャーし、それをベースとした個人ワークやグループワークを実施します。レクチャーの内容だけでなく他人が発する情報をどのように受けとめ、理解するか、さらにそれをどのように伝えていくかを意識することで多角的に能力を向上させていく。											
成績評価方法											
試験・課題 レポート 成果発表 平常点	50％ 20％ 20％ 10％	試験と課題を総合的に評価 授業内容の理解度を確認するために実施 授業時間内に行われる発表方法、内容について評価 積極的な授業参加度、授業態度によって評価									
履修上の注意											
1つの内容が連続して行われるため、欠席するとその後の個人ワークやグループワークに影響が出てしまう。また先生の話はもちろん、他学生とのディスカッションも授業の一環なので真剣に聞くこと。個人ワーク、グループワークの際は資料検索の為にスマートフォンやタブレットの使用を許可する。授業時数の4分の3以上出席しない者は評価対象から外れる。											
教科書教材											
講義内容に合わせ資料を配布する。参考書・参考資料等・スマートフォン（タブレット）の使用は授業中に指示する。											
回数	授業計画										
第1回	コラージュの手法を用いてキャラクターの設計方法を学ぶ										
第2回	コラージュとミクスチャーにおける個人ワーク										
第3回	コラージュとミクスチャーにおけるグループワーク										
第4回	世界観の構築方法を学ぶ										
第5回	世界観構築における個人ワーク										

2022年度 日本工学院専門学校	
マンガ・アニメーション科四年制	
高度専門スキル4	
第6回	世界観構築におけるグループワーク
第7回	ピクトグラムの考え方をを用いてデザインワークを学ぶ
第8回	における個人ワーク
第9回	におけるグループワーク
第10回	映画を鑑賞し三幕八場の考え方から物語の構成方法を学ぶ
第11回	三幕八場における個人ワーク
第12回	三幕八場におけるグループワーク
第13回	この授業で学んだことを駆使して最終課題に臨む
第14回	最終課題の制作
第15回	最終課題のプレゼンテーション